

経営比較分析表（令和5年度決算）

北海道 湧別町

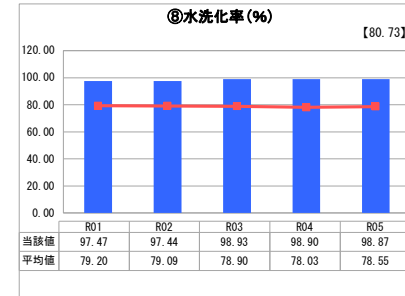
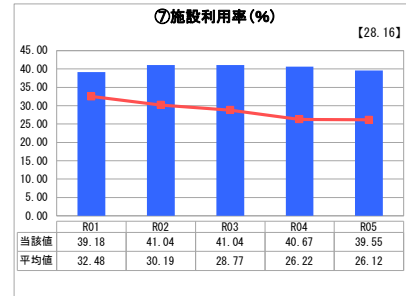
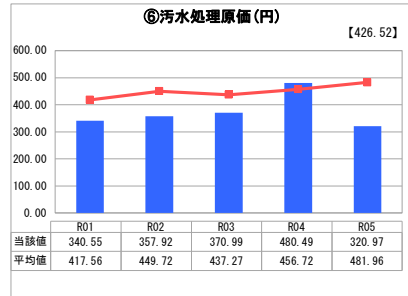
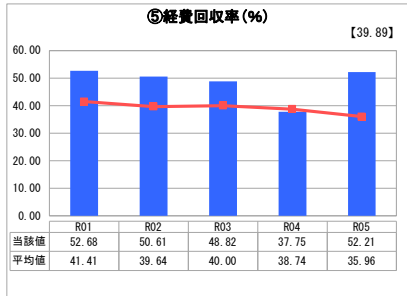
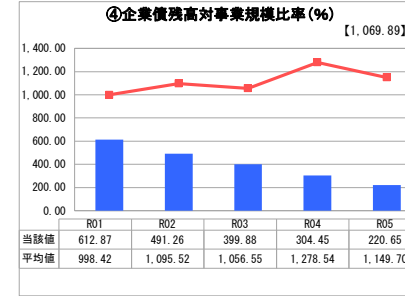
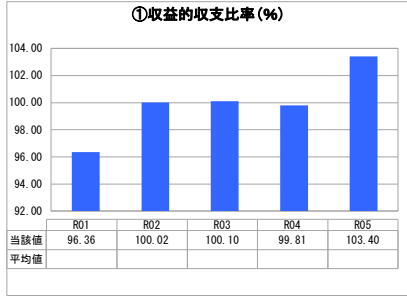
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	5.60	94.65	3,468

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,983	505.79	15.78
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
442	0.41	1,078.05

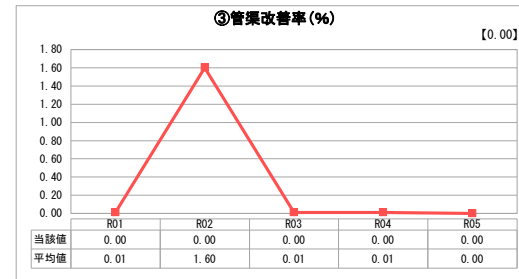
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和5年度につきましては、昨年と比べ修繕費等大規模な支出が減少していることから料金回収率が増加し、汚水処理原価が減少しております。収益的収支比率についても経費の減少により昨年と比べ増加しております。登床地区は土地の性質から真空処理方式となっておりますが、安定した維持管理のため管路施設及び処理場設備の修理・更新を予定しており今後経費の増大が見込まれます。

2. 老朽化の状況について

集落排水事業は平成9年度供給開始であり、各戸に接地されている真空弁の更新が必要となっているため、今後更新費用が増大していく見込みとなっております。また、処理場においても機械・電気設備が老朽化が著しいため、今後において改築更新費用の増加が想定されます。

全体総括

本町の集落排水事業は、維持管理の安定化を図るための投資が必要であり、また、各戸の真空弁も更新の必要があるため、今後費用が増大していく見込みであるため一層の経営改善に努めなくてはなりません。令和6年度より公営企業会計が適用となったことから、経営状況・財政状況が明確化されることで、これまでより一層経営の健全化を図ってまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。